



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場会社名 フィード・ワン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2060 URL <https://www.feed-one.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山内 孝史
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部 (氏名) 梅村 芳正 TEL 045-311-2300
 財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	163,972	0.8	3,672	17.6	3,948	14.6	2,685	△30.8
2019年3月期第3四半期	162,601	2.8	3,123	8.6	3,444	1.7	3,879	80.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,820百万円 (△11.4%) 2019年3月期第3四半期 3,182百万円 (9.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	13.65	—
2019年3月期第3四半期	19.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	97,356	38,406	39.0
2019年3月期	88,934	36,413	40.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 37,972百万円 2019年3月期 35,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	4.50	4.50
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	4.50	4.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,300	10.5	5,100	23.7	5,300	18.7	3,600	△22.7	18.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	197,385,640株	2019年3月期	197,385,640株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	600,563株	2019年3月期	600,002株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	196,785,443株	2019年3月期3Q	196,919,085株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）が保有する当社株式566,100株を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）のわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易問題や中国経済の先行き懸念、英国におけるEU離脱問題など、海外における政治の動向や経済の不確実性等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

飼料業界におきましては、主産地であります米国の中西部での長雨による作付遅れによりとうもろこしの相場は上昇しましたが、その後に米国農務省から発表された単収予想が上方修正されたことや米中貿易問題の影響等により、期を通じて不安定な値動きとなりました。また、大豆粕につきましても、米中間の貿易合意発表等の影響から12月以降は値上げ傾向となっております。

畜産物につきましては、豚肉相場はCSF（豚熱）の影響による出荷頭数の減少、鶏卵相場は関東地方の台風被害による鶏卵出荷の滞りなどにより需給が逼迫し、それぞれ期の後半にかけて値を上げる展開となりました。なお、牛肉相場は高値傾向が継続しております。

こうした環境にあつて、当社グループは3ヶ年の中期経営計画の達成に向けて、原料調達・生産体制の合理化、畜産・水産生産者へ供給する製品の品質・サービスの向上、コスト低減などの取り組みを進めてまいりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,639億7千2百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は36億7千2百万円（前年同期比17.6%増）、経常利益は39億4千8百万円（前年同期比14.6%増）となりました。また、前年同期は事業ポートフォリオの最適化を目的とした資産売却に伴う特別利益を計上していたこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億8千5百万円（前年同期比30.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

① 飼料事業

飼料事業では、畜産飼料・水産飼料ともに販売数量が前年同期を上回ったことに加え、水産飼料における収益改善が進んだこと、販売費及び一般管理費が減少したこと等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,239億5千8百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は48億5千6百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

② 食品事業

食品事業では、畜産物相場は前年同期に比べて値を上げて推移したものの、農場子会社の事業譲渡に伴う取引高の減少、また、CSF（豚熱）の影響による仕入価格の上昇等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は379億1千5百万円（前年同期比0.7%減）となり、営業利益は2億4千6百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

③ その他

特約店、畜産・水産生産者への畜水産機材等の販売により、当第3四半期連結累計期間の売上高は20億9千8百万円（前年同期比5.0%増）となり、営業利益は2億6千9百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、販売数量の拡大による受取手形及び売掛金の増加、北九州畜産工場の新設に係る建設仮勘定の増加等により973億5千6百万円（前期末比9.5%増）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、北九州畜産工場の新設に係る資金調達による借入金の増加、支払手形及び買掛金の増加等により589億5千万円（前期末比12.2%増）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により384億6百万円（前期末比5.5%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想及び配当予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,552	3,575
受取手形及び売掛金	35,155	38,450
電子記録債権	1,625	1,977
商品及び製品	1,892	2,127
原材料及び貯蔵品	9,883	8,911
動物	282	280
その他	1,886	1,656
貸倒引当金	△90	△110
流動資産合計	53,186	56,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,747	7,283
機械装置及び運搬具(純額)	7,377	8,371
土地	6,658	6,655
リース資産(純額)	108	85
建設仮勘定	4,516	7,649
その他(純額)	621	625
有形固定資産合計	26,028	30,671
無形固定資産		
その他	359	360
無形固定資産合計	359	360
投資その他の資産		
投資有価証券	7,818	8,060
長期貸付金	436	402
破産更生債権等	442	436
繰延税金資産	522	380
その他	566	599
貸倒引当金	△426	△425
投資その他の資産合計	9,359	9,453
固定資産合計	35,748	40,485
資産合計	88,934	97,356

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,643	30,272
短期借入金	10,502	12,158
リース債務	46	44
未払法人税等	1,390	501
賞与引当金	649	340
その他	5,580	7,827
流動負債合計	46,812	51,145
固定負債		
長期借入金	3,252	5,568
リース債務	70	47
繰延税金負債	10	10
役員退職慰労引当金	48	54
役員株式給付引当金	29	61
退職給付に係る負債	1,993	2,034
資産除去債務	6	6
持分法適用に伴う負債	49	-
その他	248	21
固定負債合計	5,709	7,804
負債合計	52,521	58,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	10,508	10,508
利益剰余金	15,223	17,081
自己株式	△119	△119
株主資本合計	35,612	37,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	530	645
繰延ヘッジ損益	△1	16
為替換算調整勘定	△89	△113
退職給付に係る調整累計額	△59	△46
その他の包括利益累計額合計	380	502
非支配株主持分	420	433
純資産合計	36,413	38,406
負債純資産合計	88,934	97,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	162,601	163,972
売上原価	145,142	146,150
売上総利益	17,458	17,821
販売費及び一般管理費	14,335	14,149
営業利益	3,123	3,672
営業外収益		
受取利息	14	11
受取配当金	157	159
備蓄保管収入	107	108
持分法による投資利益	23	—
その他	249	153
営業外収益合計	552	434
営業外費用		
支払利息	92	77
持分法による投資損失	—	17
その他	137	63
営業外費用合計	230	157
経常利益	3,444	3,948
特別利益		
固定資産売却益	1,948	8
投資有価証券売却益	328	106
関係会社株式売却益	—	22
補助金収入	2	—
事業分離における移転利益	11	—
特別利益合計	2,290	137
特別損失		
固定資産売却損	34	9
固定資産除却損	65	25
固定資産圧縮損	2	—
減損損失	79	4
投資有価証券売却損	1	—
出資金評価損	24	—
ゴルフ会員権評価損	—	14
災害による損失	22	—
工場閉鎖損失	112	30
特別損失合計	341	84
税金等調整前四半期純利益	5,393	4,002
法人税、住民税及び事業税	1,722	1,222
法人税等調整額	△219	81
法人税等合計	1,503	1,303
四半期純利益	3,890	2,698
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,879	2,685

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,890	2,698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△693	114
繰延ヘッジ損益	△44	18
退職給付に係る調整額	18	13
持分法適用会社に対する持分相当額	10	△24
その他の包括利益合計	△708	122
四半期包括利益	3,182	2,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,171	2,808
非支配株主に係る四半期包括利益	10	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員向け株式交付信託)

当社は、当社取締役(社外取締役を除きます。以下について同じです。)及び当社と委任契約を締結している執行役員(以下、総称して「取締役等」といいます。)を対象とする株式報酬制度「役員向け株式交付信託」(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、取締役等の報酬として、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下、「本信託」といいます。)が当社株式を取得し、当社が定める「株式交付規程」に基づいて、各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式等が本信託を通じて交付されます。

また、本制度においては、2019年3月末日で終了する事業年度から2021年3月末日で終了する事業年度までの3事業年度の間在任する取締役等に対して当社株式等が交付されます。なお、当社取締役等が当社株式等の交付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

本制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。なお、「株式交付規程」に基づく当社取締役等への当社株式の交付に備えるため、当第3四半期連結会計期間における株式給付債務の見込額に基づき役員株式給付引当金を計上しております。

(2) 信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度末の当該株式の帳簿価額は117百万円、株式数は566,100株であり、当第3四半期連結会計期間末の当該株式の帳簿価額は117百万円、株式数は566,100株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	122,423	38,178	160,602	1,999	162,601	—	162,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	904	2	906	253	1,160	△1,160	—
計	123,327	38,181	161,509	2,252	163,761	△1,160	162,601
セグメント利益	4,354	294	4,648	239	4,887	△1,764	3,123

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜水産機材及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,764百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,776百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食品事業」セグメントにおいて、一部の連結子会社の事業を会社分割の方法により承継することを決定したことに伴い、74百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

また、報告セグメントに配分されない減損損失は、5百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	123,958	37,915	161,873	2,098	163,972	—	163,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	703	5	708	297	1,006	△1,006	—
計	124,661	37,920	162,582	2,396	164,978	△1,006	163,972
セグメント利益	4,856	246	5,102	269	5,371	△1,699	3,672

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜水産機材及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,699百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,703百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飼料事業」セグメントにおいて、事業用資産の一部が遊休状態となったことに伴い4百万円を減損損失として特別損失に計上しております。